

スタディスキル2 家庭学習の仕方を身に付けるために！ ～定期テストの準備をしよう～



《一般的なテスト範囲表》

日(曜)	時間	教科	範囲
11日(木)	1	国語	・教科書 p.50～93 「竹取物語」「少年の日の思い出」 文法/新出漢字/和語・漢語・外来語 ・授業で使ったプリント ・資料集 p.90～103
	2	数学	・教科書 p.30～55 ・問題集 p.48～68

(2)要因

試験に向けた学習の仕方が分からない！

(3)対応

学習の手順と方法を具体的に提示しよう！

①“あると便利な”テスト範囲表

教科	範囲	テストに向けた家庭での学習内容	
		必ずやろう！	できれば、やってみよう！
国語	・教科書 p.50～93 「竹取物語」 「少年の日の思い出」 ・授業で使ったプリント ・文法 ・新出漢字 ・和語、漢語、外来語 ・資料集 p.90～103	① 教科書を3回以上音読する。 ② 読めなかった漢字に印を付けて、読み方を調べる。 ③ ノートやプリントを見直し、言葉のきまりについて確認をする。 ④ 新出漢字や間違えた漢字を3回練習する。 ⑤ 和語、漢語、外来語の意味や分け方の確認をする。 ⑥ 資料集「竹取物語」を読む。	⑦ 分からない言葉を調べて、ノートにまとめる。 ⑧ 再度、教科書を読み、感想や気付いたことをノートに書き足す。 ⑨ 身近な言葉を、和語、漢語、外来語に分ける。 ⑩ 資料集等で、平安時代の社会や文学について調べる。
		① 計算の仕方を確認する。 ② 例題1を解く。	⑤ 自分で問題を3問作って、解く。

《必ずやろう！》には…

学習を一人で進められない生徒を想定して、一人でも行える内容と手順を示す。
「これだけであれば…」というものが示せるとよい。

《できれば、やってみよう！》には…

すでに基礎的指導内容は理解できていて、発展的指導内容に取り組める生徒を想定した内容を提示する。

ポイント1

○学習内容について、何をどのようにすればよいか、番号順に示されていることで明確になっている。

ポイント2

○《必ずやろう！》に全教科取り組んでから、得意教科の《できれば、やってみよう！》に取り組むことができるので、見通しが立てやすい。

必要に応じては、家庭と連携を取り、保護者のチェック欄を設けても…。

②“あると便利な”テスト計画表 ～前期中間テスト対策計画表～

	国語	社会	数学	理科	英語	学習時間	担任チェック
5月30日(土)		①		①・②		1.5	<input checked="" type="checkbox"/>
5月31日(日)		②	①・②	③	①	3	<input checked="" type="checkbox"/>
6月1日(月)	①・②				②		
6月2日(火)	③・④			③	③		
6月3日(水)	⑤				④		
6月11日(木)	テスト	⑧	テスト	テスト	⑧		
6月12日(金)		テスト			テスト		
学習実績	① ⑥ ② ⑦ ③ ⑧ ④ ⑨ ⑤ ⑩	● ⑥ ● ⑦ ③ ⑧ ④ ⑨ ⑤	● ⑥ ● ⑦ ③ ⑧ ④ ⑤	● ⑥ ● ⑦ ③ ⑧ ④ ⑨ ⑤ ⑩	● ⑥ ② ⑦ ③ ⑧ ④ ⑨ ⑤ ⑩		

ポイント3

○「テスト範囲表」の学習内容の番号を記入する。

ポイント4

○各教科の計画は縦軸で行う。
やりきれなかったら、番号を修正。

ポイント5

○各教科の日々の学習時間集計は横軸で行う。
○終わった番号を塗りつぶす。

ポイント6

ポイント6

自習できるようになるまで、学習の方法や手順をガイドし続けることが大切です。

家庭でもやるのが分かり、進度も確認できるので、取組を応援しやすくなります！

これなら、頑張れるぞ！



※この方法は、月森久江編著『教室でできる特別支援教育のアイデア中学校編』（図書文化）を元としています。

